clarion

取扱説明書

DFZ665MC

SDスロット搭載2DIN CD/MP3/WMA/Music CatcherⅡ　レシーバー

このたびはクラリオン商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの『取扱説明書』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところ（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

保証書（別添）は、お買い求めの販売店で記入しますので、内容をご確認のうえ、後々のためこの取扱説明書とともに大切に保存してください。

目　次

はじめに

本機の操作

■各部の名称とはたらき

■基本の操作

■ラジオを聴く

■CD/MP3/WMA、ミュージックキャッチャーII(MC)、SDメモリーカードを聴く

■ミュージックキャッチャーII(MC)で録音する

■タイトルをつける

■設定を変更する(アジャストモード)

外部機器の操作

■外部機器を操作する

■CDチェンジャーを操作する

※『曲を選ぶ/早送り/早戻し/一時停止/スキャン演奏/リピート演奏/ランダム演奏』は、CDと同様の操作です。「CD/MP3/WMA、ミュージックキャッチャーⅡ、SDメモリーカードを聴く」(30〜31ページ)をご覧ください。

■テレビを見る

※『自動メモリー/自動選局/手動選局/プリセット選局/プリセットメモリー』は、ラジオと同様の操作です。「ラジオを聴く」(24〜26ページ)をご覧ください。

その他

主な特長

eNET SD MUSIC CATCHER mp3 ID3 TAG

■ミュージックキャッチャー® Ⅱ機能
- 内蔵メモリーに、演奏中の音楽CDを4倍速で録音し、録音した曲をいつでも再生できます。

■SDメモリーカードスロット搭載
- 多彩なデジタル機器との互換性が高いSDメモリーカードスロット搭載
  MP3/WMAファイルをそのまま再生することができます。
- MP3/WMAファイルのTAG情報を表示可能

■携帯用オーディオ入力端子（フロントAUX入力）
- フロントパネルにAUX入力端子を装備することにより、携帯用オーディオなどを簡単に接続することができます。

■デジタルZエンハンサー機能（DZE）
- 音響のバランスを保ちながら、高音域/低音域の各音域をそれぞれ強調し、スピーカーシステムに応じたサウンドメイキングが可能

■リスニングポジションオプティマイザー機能（LPO）
- 各車種ごとのスピーカー距離を聞く位置に合わせて仮想的に最適化することにより、明瞭なサウンドステージングを実現

■バリアブルカラー機能
- RGBカラーのLEDにより、アクリルキー部を728色にカラー調整可能（12色のプリセットカラーと3色のユーザーメモリー付き）

■50W×4chハイパワーアンプ内蔵
- MOS-FET最大出力50W×4chハイパワーアンプを内蔵

■ラジオチューナー部
- 聴きたい放送局を、ワンタッチで選局できるISR機能
- チューナーエリアを選択するだけで、自動的に放送局名を表示するエリアセレクト機能
- 30の放送局名を任意に入力できるタイトルインプット機能
- メモリーした放送局を順に受信するプリセットスキャン機能

■CD/MP3/WMAプレーヤー部
- CDテキスト表示対応
- CD-R/CD-RW再生対応
- MP3/ WMA フォーマットで記録したCD- R/RWが再生可能
- ISO9660レベル1,2、JOLIET、ROMEOに対応
- MP3/ WMA ファイルのTAG情報を表示可能
- 音楽CD50枚分のタイトルが入力できるタイトルインプット機能

■マグナベースEX機能
- 音量レベルに連動して、重低音域をコントロールする音質調整機能

■盗難抑止ブリンキングLED搭載
- リセットボタンが点滅し盗難抑止効果を発揮します。

■メッセージ入力機能
- スクリーンセーバーの1つとしてお好みに合わせて表示することができます。（英・数・カナ・記号30文字）

■タイトル入力機能
- ラジオやCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能（英・数・カナ・記号10文字）

■CeNET (Clarion Network：シーイーネット)結線対応
- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用。B.B TVチューナー、CDチェンジャーが操作できるコントロール機能
- CDチェンジャーは、合計2台まで接続可能

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この説明書の表示では、製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警 告	⚠注 意
この表示を無視して、誤った使用をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った使用をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	⚠記号は警告･注意を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

●安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●お読みになったあとはいつでも見られるところ(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

■ 使用上のご注意

⚠警告

●運転者は走行中に操作をしない…

前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。

●ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

●ディスク挿入口や機器内部に水や異物をいれない…

火災や感電の原因となります。

⚠警告

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起こったときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。本機のヒューズ容量については、本機に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。

⚠注 意

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●ディスク挿入口に手や指を入れない…

けがの原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない…

感電やけがの原因となることがあります。

●電源を切るときは、音量を最小にする…

電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

⚠注 意

●音声が割れる､歪むなどの異常状態で使用しない…

火災の原因となることがあります。

●本機の取付および取付の変更は、安全のため必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

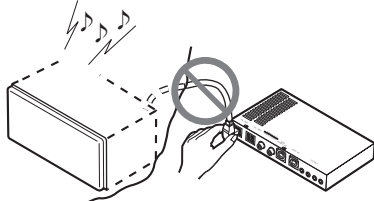
専門技術と経験が必要です。

ご確認事項

●COMPACT disc DIGITAL AUDIO または COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT マークのついたCDをご使用ください。
また、ハート形や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

●CD-R/RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

●車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。
CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。

●本体および本体に接続されている外部機器を取り付けまたは取り外すときは電源をOFFにして行ってください。システム作動中に行うと、故障の原因となります。

●CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。配線長が20mを越えると動作不良の原因となります。

表示画面について

●非常に寒いときに、画面の動きが遅くなったり、画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

●表示画面の表示色が、本体の熱や車内の温度によって変色することがありますが、発光体特有の現象で、故障ではありません。常温に戻れば回復します。

取扱上のご注意

本体のお手入れについて

●本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障することがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミがつくことがあります。

ディスプレイについて

●本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

●直射日光などの関係により、製品に光が反射する恐れがあります。運転の際は十分ご注意ください。

エラー表示について

●本機はシステム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。エラー表示はセンターユニットのディスプレイに表示されます。ディスプレイにエラーが表示されたときには、「**エラー表示について**」(52ページ)を参照して障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作になります。

CDの演奏について

●本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。

●CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。

●8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。

SDメモリーカードについて

●SDメモリーカードをイジェクトしたら、必ずSDメモリーカードを取り出してください。

SDメモリーカードがイジェクトされた状態で走行すると、走行中の振動により、SDメモリーカードが落下することがあります。

●mini SDメモリーカード、MMC(マルチメディアカード)には対応しておりません。

●SDメモリーカードは、32M～1Gまでを推奨します。

●本機はSDメモリーオーディオには対応しておりません。

CDについて

■取扱い上のご注意

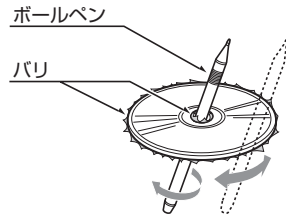
●CD-R,CD-RWは、通常の音楽CDに比べ高温多湿の環境に弱く、一部のディスクでは再生できない場合があります。車室内に長時間、放置しないようにしてください。

●各種コピーコントロールCDは、CD規格に合致しない特殊ディスクであり、弊社としてはCD再生機器における再生保証は致しかねます。万が一、このような特殊ディスクの再生に支障がある場合には、CDの発売元にお問い合わせください。

●記録面に、傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。

●印刷面や記録面にシール、シート、テープなどを貼らないでください。

●セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

●新しいディスクには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。ディスクにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

■保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

●直射日光の当たる場所

●湿気やホコリの多い場所

●暖房の熱が直接当たる場所

■お手入れ

●汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。

●従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

各部の名称とはたらき

本機を操作するボタン

■本文説明における省略記載について

• ミュージックキャッチャー Ⅱ機能については "MC"、SD メモリーカード機能については "SD"と略称で記載します。

COLOR

[COLOR]ボタン

• バリアブルカラーの表示色を切り換えます。
• ユーザーカラー選択時に押し続けると（約1秒間）、カラー調整モードになります。

DIGITAL Z-EHCR

[DIGITAL Z-EHCR]ボタン

• 3種類の音質効果メモリーを切り換えます。

1 ～ 3

ダイレクトボタン（1～3）

• ラジオモード時に、放送局をメモリーして直接呼出します。

1 SCN

[SCN]ボタン

• CD/MP3/WMA、MC、SDモード時は、約10秒間ずつスキャン演奏します。
• MP3/WMAディスク、MC、SD再生時は、押し続けると(約1秒間)フォルダスキャン演奏をします。

2 RPT

[RPT]ボタン

• CD/MP3/WMA、MC、SDモード時は、繰り返し演奏します。
• MP3/WMAディスク、MC、SD再生時は、押し続けると(約1秒間)フォルダリピート演奏をします。

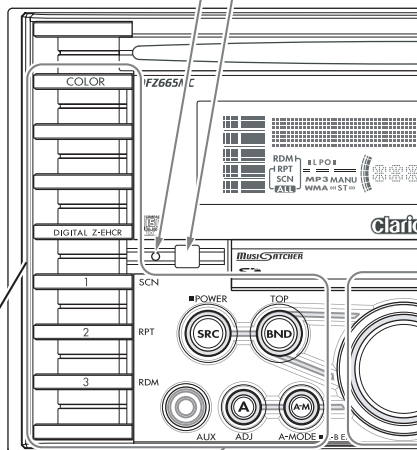
3 RDM

[RDM]ボタン

• CD/MP3/WMA、MC、SDモード時はランダム演奏をします。
• MP3/WMAディスク、MC、SD再生時は、押し続けると(約1秒間)フォルダランダム演奏をします。

■POWER SRC

[SRC]ボタン

• 電源を入れ、各ソースを切り換えます。電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。

TOP BND

[BND]ボタン

• ラジオモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続けて(約1秒間)自動選局か手動選局に切り換えます。
• CD/MP3/WMA、MC、SDモード時は、最初の曲を演奏します。(トップ機能)

AUX

AUX入力端子

• 携帯用オーディオ機器を接続します。

A ADJ

[A]ボタン

• 表示系以外の設定を変更するときに使います。

A-M A-MODE ■M-B EX

[A-M]ボタン

• 音質とバランス/フェダーを調整します。
• 押し続けると（約1秒間）マグナベースEX機能をON/ OFFします。

プレイ/ポーズ(▶II)ボタン

PS/AS ENT

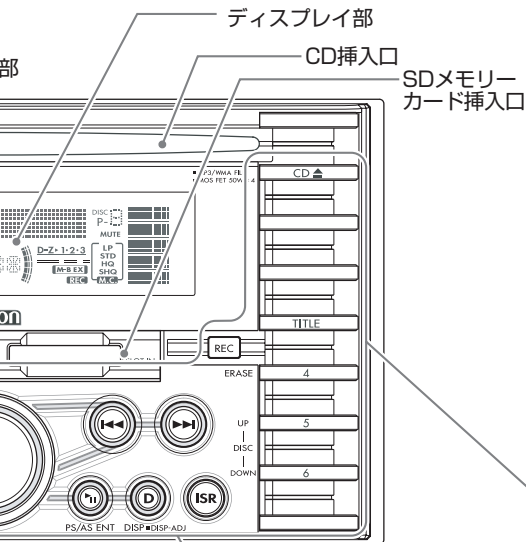
• ラジオモード時は、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
• CD/MP3/WMA、MC、SDモード時は、演奏を一時停止します。

[**D**]ボタン

DISP■DISP-ADJ

• ディスプレイ表示を切り換えます。
• 押し続けて(約1秒間)表示系の各種設定や調整に使います。

[**ISR**]ボタン

• 再生中のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼出します。(ISR機能)

CD ⏏

[**CD ⏏**]ボタン

• CDをイジェクトします。

REC

[**REC**]ボタン

• 内蔵メモリーにCDを録音します。(ミュージックキャッチャーⅡ機能)

TITLE

[**TITLE**]ボタン

• タイトル表示中にユーザータイトル、トラックタイトル等に切り換えます。
• ラジオ、MCモード時および音楽CD演奏時にユーザータイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。

4 ～ 6

ダイレクトボタン(4～6)

• ラジオモード時に、放送局をメモリーして直接呼出します。

ERASE 4

[**ERASE**]ボタン

• MCモード時に、MC内に録音されている曲を消去します。

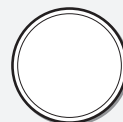
5

6

[**UP**]、[**DOWN**]ボタン

• MP3/WMAディスク、MC、SD再生時に、フォルダを切り換えます。

サーチ(◀◀, ▶▶)ボタン

• ラジオモード時は選局に使います。
• CD/MP3/WMA、MC、SDモード時は、選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。

[**VOLUME**]ノブ

• 音量を調整します。
• 各種調整にも使います。

本機の操作

外部機器を操作するボタン

1 〜 6

ダイレクトボタン

- TVモード時に、放送局をメモリーして直接呼出します。

1 SCN

[SCN]ボタン

- CDチェンジャーモード時に、約10秒間ずつスキャン演奏します。

2 RPT

[RPT]ボタン

- CDチェンジャーモード時に、繰り返し演奏します。

3 RDM

[RDM]ボタン

- CDチェンジャーモード時に、ランダム演奏をします。

■POWER SRC

[SRC]ボタン

- 各ソースを切り換えます。

TOP BND

[BND]ボタン

- TVモード時は、バンドを切り換えます。また、押し続けて(約1秒間)自動選局か手動選局に切り換えます。
- CDチェンジャーモード時は、次のディスクに切り換えます。

A ADJ

[A]ボタン

- TVモード時に、VTRモードへ切り換えます。

TITLE

[TITLE]ボタン

- タイトル表示中にユーザータイトル、トラックタイトル等に切り換えます。
- TV、CDチェンジャーモード時にユーザータイトルの入力/削除、タイトルスクロールなどに使います。

PS/AS ENT

プレイ/ポーズ(▶II)ボタン

- TVモード時は、自動的に放送局をメモリーしたり、メモリーされた放送局を確認できます。
- CDチェンジャーモード時は、演奏を一時停止します。

D DISP■DISP-ADJ

[D]ボタン

- ディスプレイ表示を切り換えます。

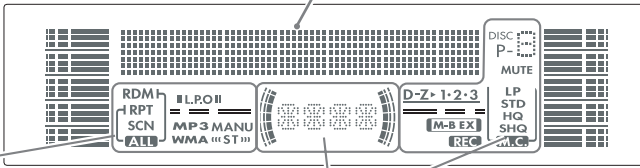
サーチ(I◀◀, ▶▶I)ボタン

- TVモード時は、選局に使います。
- CDチェンジャーモード時は、選曲に使います。押し続けると早送り/早戻しを行います。

UP | DISC | DOWN 5 6

[UP]、[DOWN]ボタン

- CDチェンジャーモード時に、ディスクを切り換えます。

ディスプレイ表示

• 演奏状態に応じて点灯

SCN	：スキャン演奏時
RPT	：リピート演奏時
RDM	：ランダム演奏時
ALL	：ディスクまたはフォルダスキャン、リピート、ランダム演奏時
IIL.P.OII	：LPO設定時
MP3	：MP3演奏時
WMA	：WMA演奏時 **WMA点滅中は音がでません。(28ページ参照)**
MANU	：マニュアル選局設定時
(((ST)))	：ステレオ受信時

P-8	：ラジオモード時のプリセットチャンネル表示
DISC8	：CDチェンジャー時のディスクNo.
MUTE	：消音時に点滅(リモコン使用時)
D- Z ▸ 1 · 2 · 3	：デジタルZエンハンサー設定時に点灯
M-B EX	：マグナベース機能ON時に点灯
REC	：MC録音時に点滅
LP	：LP設定時に点灯
STD	：STD設定時に点灯
HQ	：HQ設定時に点灯
SHQ	：SHQ設定時に点灯
M.C.	：MC 演奏時に点灯

タイトル表示部

• メイン表示選択時の表示

FM1 79.5	：ＦＭバンド名と受信周波数
TV 1ch	：TVのバンド名と受信チャンネル
F03 T01	：MP3/WMA、MC、SDモード時のフォルダNo.とトラックNo.
T03 00:00	：CD/MP3/WMA 、CDチェンジャーモード時のトラックNo.と演奏時間

• **演奏選択時に約2秒間表示**
(音楽CD再生時)

SCAN	：スキャン演奏
REPEAT	：リピート演奏
RANDOM	：ランダム演奏

(MP3/WMA 、MC 、SD 、CDチェンジャー再生時)

SCAN	：スキャン演奏
REPEAT	：リピート演奏
RANDOM	：ランダム演奏
ALL SCAN	：ディスクまたはフォルダスキャン演奏
ALL RPT	：ディスクまたはフォルダリピート演奏
ALL RDM	：ディスクまたはフォルダランダム演奏

ソース名表示部

TUNE	：ラジオモード
CD	：CD/MP3/WMAモード
M-CT	：MCモード
SD	：SDモード
CDC1～2	：CDチェンジャーモード
TV	：TVモード
AUX	：AUXモード
EDIT	：アジャストモード
A-M	：オーディオモード
ISR	：交通情報

タイトル表示部(つづき)

FILE READ	：CD情報読み込み中
NO DISC	：ディスクがないとき
NO SD CARD	：SDメモリーカードがないとき
ERROR 2	：エラー発生時
PAUSE	：演奏一時停止時
NO MAG	：CDチェンジャーのマガジンがないとき
DISC CHECK	：ディスク診断中

本機の操作

別売リモコン(RCB-176)の使い方

モードを選ぶ
ソースボタン

●電源を入れ、各ソースを切り換えます。
●電源を切るときは押し続け(約1秒間)ます。

音量を調節する
▲▼(ボリューム)ボタン

音を消す
ミュートボタン

●ミュート(消音)機能をON/OFFします。

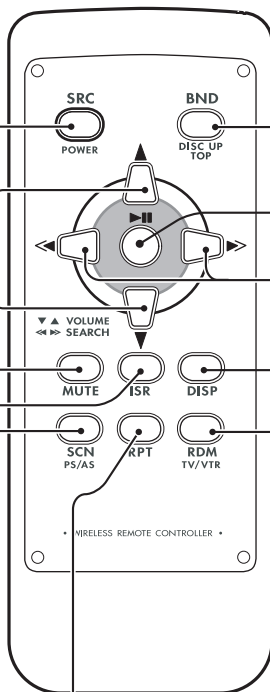
ISRメモリーを呼出す
ISRボタン

●再生中のソースにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局を呼出します。
●ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ラジオモードでISRボタンを押し続け(約2秒間)ます。
●元のモードに戻すには、もう一度ISRボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする
スキャンボタン

●スキャン演奏をします。(CD/MP3/WMA、MC、SD、CDチェンジャーモード時)
●押し続けると(約1秒間)フォルダ（ディスク）スキャン演奏をします。
●プリセットした放送局を確かめられます。(ラジオ、TVモード時)
●また、押し続けると(約2秒間)放送局を自動的にメモリーします。(ラジオ、TVモード時)
●解除するときは、もう一度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する
リピートボタン

●リピート演奏をします。(CD/MP3/WMA、MC、SD、CDチェンジャーモード時)
●押し続けると(約1秒間)フォルダ（ディスク）リピート演奏をします。
●TVモード時にステレオ/モノラルを切り換えます。
●TVモード時に押し続ける(約1秒間)とMAIN/SUB（2ヵ国語）を切り換えます。
●解除するときは、もう一度リピートボタンを押します。

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える
バンドボタン
●最初の曲から演奏します。(CD/MP3/WMA、MC、SDモード時)
●受信バンドを切り換えます。(ラジオ、TVモード時)

次のCDを演奏する
バンドボタン
●次のディスクに切り換えます。(CDチェンジャーモード時)

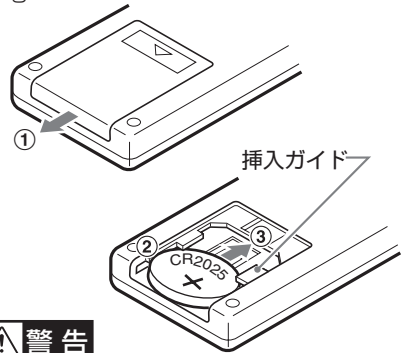
演奏を一時停止する
▶/II (プレイ・ポーズ)ボタン
●一時停止をします。(CD/MP3/WMA、MC、SD、CDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する
≪ ≫ サーチボタン
●押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。
押し続けると(約1秒間)早送り/早戻しをします。(CD/MP3/WMA、MC、SD、CDチェンジャーモード時)
●プリセットチャンネルをアップまたはダウンします。　(ラジオ、TVモード時)

表示を切り換える
ディスプレイボタン
●表示を切り換えます。
●タイトル表示中に押し続けると(約1秒間)タイトル表示を切り換えます。

ランダム演奏する/TVをVTRに切り換える
ランダムボタン
●ランダム演奏をします。(CD/MP3/WMA、MC、SD、CDチェンジャーモード時)
●押し続けると(約1秒間)フォルダ（ディスク）ランダム演奏をします。
●TVモード時にTVとVTRを切り換えます。
●解除するときは、もう一度ランダムボタンを押します。

■電池の入れかた

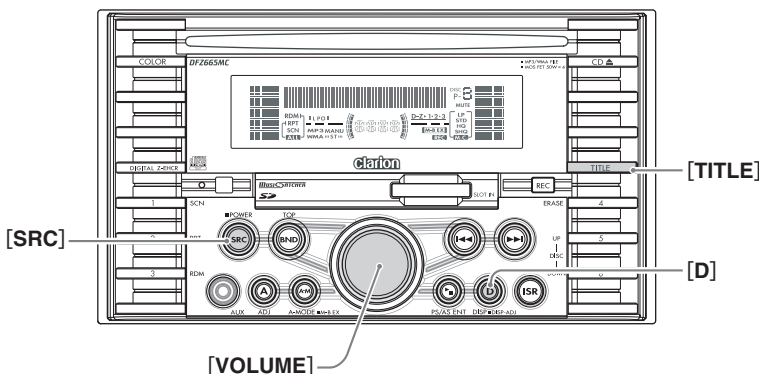
① リモコンを裏返し、ふたを矢印の方向に引き出す
② 電池(CR2025)の刻印面を上にして、挿入ガイド部にセットする
③ セットした電池を押しながら矢印方向に挿入する
④ 「カチッ」と音がするまで、ふたを押し込む

⚠警 告

・リモコンを放置しないでください。
　停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
・事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。
　万一、お子さまが飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠注 意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。
・指定電池以外は使用しない。
・電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
・電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
・使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。
・リモコンは直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。

本機の操作

基本の操作

電源を入れる

電源を入れるとシステムチェックを開始し、ディスプレイに“**SYSTEM CHK**”を表示します。チェックが完了すると電源OFFの状態になりますので、[**SRC**]ボタンを押してください。

1 [**SRC**]ボタンを押す

ご注意

バッテリーあがり防止のため、本機の操作はエンジンをかけた状態で行ってください。

■ *システムチェックについて…*

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されます。

・本機の取り付け直後に電源を入れたとき
・外部機器を接続または取り外したとき
・バッテリー交換等で電源が切れたとき
・リセットボタンを押したとき

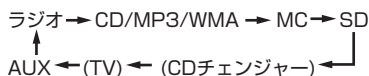
■ *電源を切るときは…*

[**SRC**]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

ソースを選ぶ

1 [**SRC**]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。( )内は外部機器のソースです。

ラジオ → CD/MP3/WMA → MC → SD
AUX ← (TV) ← (CDチェンジャー) ←

音量を調節する

1 [**VOLUME**]ノブを回す

⚠注 意

運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える

1 [**D**]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

- タイトル・時計表示中から、選局/選曲等を行うとメイン表示を約2秒間表示して元の表示に戻ります。

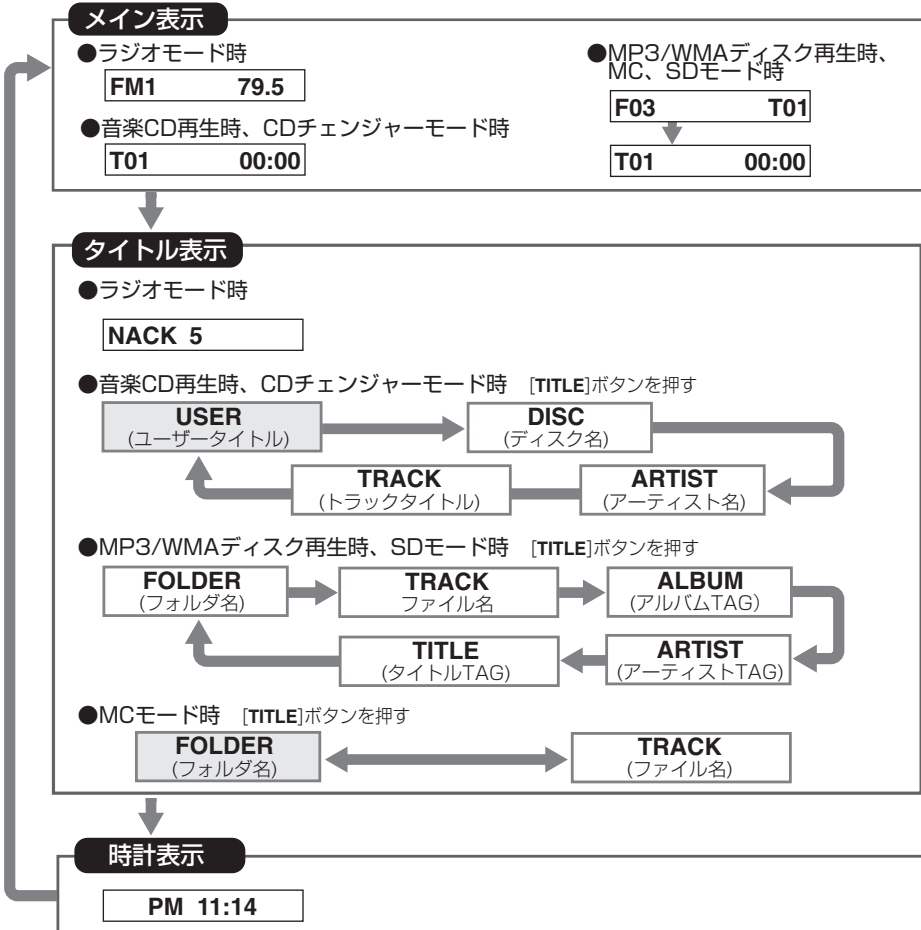
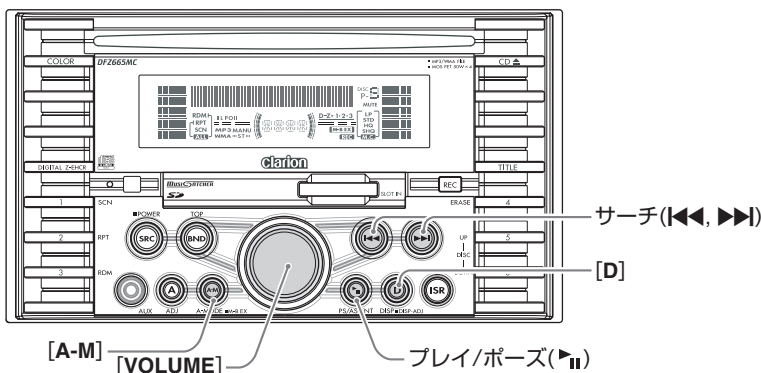
■ 別のタイトル表示に切り換えるには…

タイトル表示中に、[**TITLE**] ボタンを押してください。

- ユーザータイトル・フォルダ表示は、お好みに合わせてタイトルを変更することができます。詳しくは、「タイトルを入力する」(35ページ)をご覧ください

■ スクリーンセーバーについて…

スクリーンセーバー機能がONのときに、設定されているスクリーンセーバーパターンを表示します。詳しくは「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(39ページ)をご覧ください。

本機の操作

時刻を合わせる

本機は、車のエンジンスイッチまたはACC ON時に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

1 [**D**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目名(**CLOCK E** 等)が表示されて、ディスプレイアジャストモードになります。

2 サーチ(I◀◀, ▶▶I)ボタンを押して、「**CLOCK E**」を選ぶ

3 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押す

→時刻(「**PM 1:15 E**」等)が表示されて、時刻設定モードになります。

- 時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

4 サーチ(I◀◀, ▶▶I)ボタンを押して、時または分を選ぶ

- 点滅している項目を調整できます。

5 [**VOLUME**]ノブを回して、時刻を合わせる

6 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押す

→「ピー」と鳴って時刻が設定されます。

ご注意

点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう一度時刻合わせをしてください。

7 [**D**]ボタンを押して、元のモードに戻る

■常時、時計表示するには…

時計表示に設定します。また、スクリーンセーバーの設定がONの場合はOFFにしてください。詳しくは「スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)」(39ページ)をご覧ください。

■電源OFF時に時計表示をON/OFFするには…

電源OFF時に、[**D**]ボタンを押してください。

LPOを設定する(リスニングポジションオプティマイザー機能)

車種や乗車する人数に合わせてシートポジションを選択することで、お手軽に音場効果を調整できます。
※初期設定は、「**TYPE OFF**」、「**SEAT F-L**」です。

ご注意

7秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元のモードに戻ります。

1 [**A-M**] ボタンを押して、「**LPO**」を選ぶ

2 [**VOLUME**] ノブを回して車種を設定する

→回すたびに、次のように切り換わります。

- **TYPE OFF** ：車種の設定をしません。
- **TYPE CMPCT** ：小型車に適しています。
- **TYPE SEDAN** ：中型車に適しています。
- **TYPE 1BOX** ：大型車に適しています。

3 サーチ(⏮、⏭)ボタンを押す

4 [**VOLUME**] ノブを回してリスニングポジションを設定する

→回すたびに、次のように切り換わります。

- **SEAT F-L** ：前左座席に座っている場合
- **SEAT F-R** ：前右座席に座っている場合
- **SEAT REAR** ：後ろ座席に座っている場合

5 [**A-M**] ボタンを数回押して、元のモードに戻る

重低音を増強する(マグナベースEX 機能)

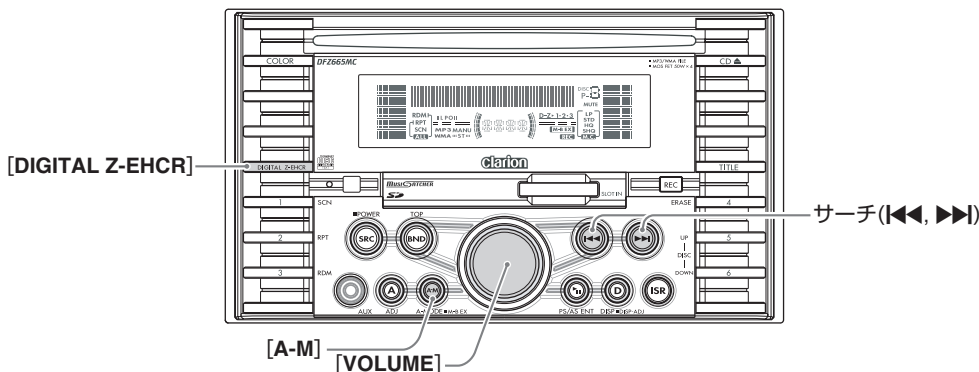
小音量でお聴きになるときには、低音を強調するマグナベースEX の自然な音質をおすすめします。

ご注意

デジタルZ エンハンサー機能が**DZE-OFF**のときに設定できます。

1 [**A-M**] ボタンを押し続ける(約1秒間)

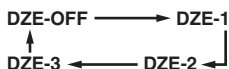
→ONになると、「**M-B EX**」が点灯します。

■マグナベースEXをOFFするには…
もう一度、[**A-M**]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

音質を簡単に設定する (デジタルZエンハンサー機能)

本機は、3種類の音質効果をメモリーしてあります。お好みの音質を設定してお楽しみください。
※初期設定は「**DZE-OFF**」です。

1 [**DIGITAL Z-EHCR**]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

DZE-OFF → **DZE-1** → **DZE-2** → **DZE-3** → **DZE-OFF**

- **DZE-1**：コアキシャルスピーカーに適しています。
- **DZE-2**：セパレートスピーカーに適しています。
- **DZE-3**：ロングドライブでも聴き疲れしないフラットな音質効果
- **DZE-OFF**：デジタルZエンハンサーオフ

■デジタルZエンハンサーオフについて(DZE-OFF)…

デジタルZエンハンサーオフ(DZE-OFF)は、原音のままお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

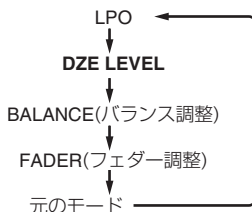
使用しているスピーカーシステムにより、音割れ・ひずむ場合は、次項のDZE LEVELを低めに調整するかDZEをOFFにしてください。

デジタルZエンハンサー量を調整する

ご注意

- デジタルZエンハンサー機能が**DZE-1～3**のときに調整できます。
- 7秒間操作がないときは、調整モードを解除し、元のモードに戻ります。

1 [**A-M**]ボタンを押して、「**DZE LEVEL**」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

2 [**VOLUME**]ノブを回して、調整する

- 調整範囲は、－3～＋3です。

3 [**A-M**]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

音質を調整する(バス/トレブル)

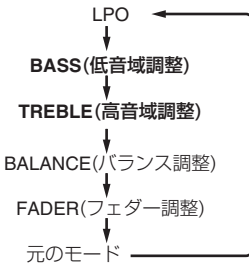
この機能は、音質をきめ細かく設定してお聴きになりたいときにご使用ください。

ご注意

- デジタルZエンハンサー機能が**DZE-OFF**のときに設定できます。
- 7秒間操作がないときは、元のモードに戻ります。

1 [**DIGITAL Z-EHCR**]ボタンを押して、「**DZE-OFF**」を選ぶ

2 [**A-M**]ボタンを押して、「**BASS**」または「**TREBLE**」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

3 [**VOLUME**]ノブを回して「**GAIN**」(ゲイン)を調整する

- BASS(低音域)調整範囲は－6～＋8、TREBLE(高音域)調整範囲は－6～＋6です。

4 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押して、「**FREQ**」(周波数)または「**Q**」(カーブ)を選ぶ

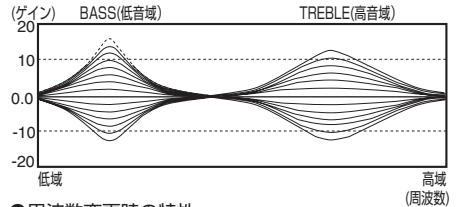
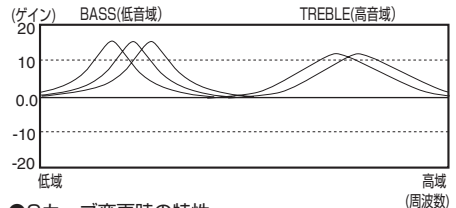
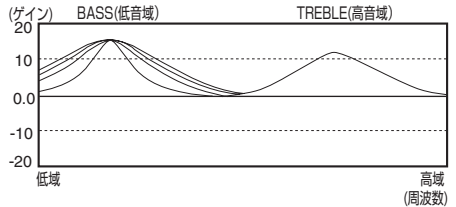
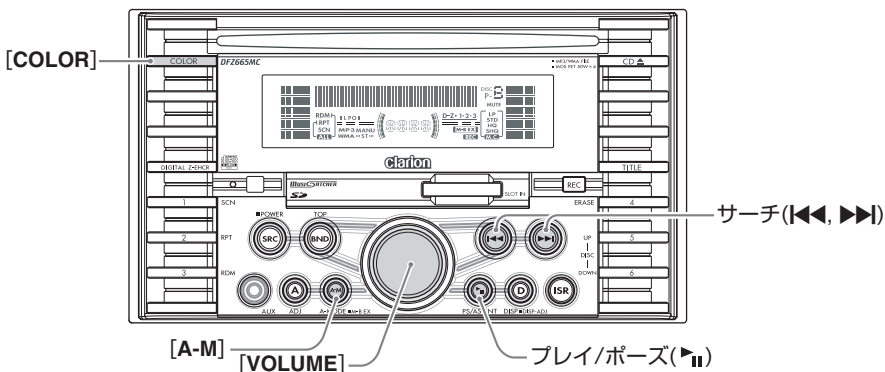
5 [**VOLUME**]ノブを回して、「**FREQ**」(周波数)または「**Q**」(Qカーブ)を調整する

- **BASS**(低音域)
  周波数(FREQ) ：50Hz, 80Hz, 120Hz
  Qカーブ(Q) ：1, 1.25, 1.5, 2
- **TREBLE**(高音域)
  周波数(FREQ) ： 8kHz, 12kHz
  Qカーブは選択できません。

6 [**A-M**]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

※次の特性図表を参考にバスおよびトレブルを調整し、お好みの音質に調整してください。

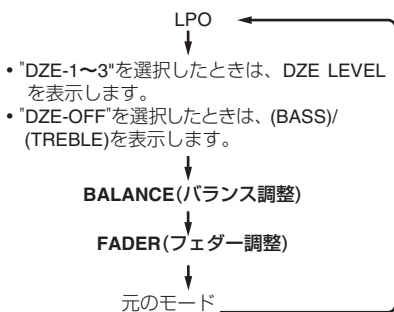
●ゲイン調整時の特性

(ゲイン) BASS(低音域) TREBLE(高音域)
20 10 0.0 -10 -20
低域 高域(周波数)

●周波数変更時の特性

●Qカーブ変更時の特性

※Qカーブ(Q)は数値を大きくすると鋭く、小さく設定すると緩やかなカーブになります。

バランス/フェダーを調整する

ご注意

7秒間操作がないときは、元のモードに戻ります。

1 [**A-M**]ボタンを押して、「**BALANCE**」または「**FADER**」を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

2 [**VOLUME**]ノブを回して、調整する

●左右のスピーカー(バランス)の調整

調整範囲は、L13〜R13です。

右に回すと右のスピーカーの音が強調され、左に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

●前後のスピーカー(フェダー)の調整

調整範囲は、F12〜R12です。

右に回すと前のスピーカーの音が強調され、左に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

3 [**A-M**]ボタンを数回押して、元のモードに戻る

アクリルキーの照明色を設定する

お好みに合わせて、アクリルキーの照明色を変更することができます。
イルミネーションは、12色のプリセットカラーおよび、728色のカラー調整が可能です。お好みに合わせて表示色を選択してください。
※初期設定は「**COLOR SCAN** 」です。

1 [**COLOR**]ボタンを押して、表示色を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

COLOR SCAN（カラースキャン）
↓
Indigo Blue（インディゴブルー）
↓
Surf Blue（サーフブルー）
↓
Silky White（シルキーホワイト）
↓
Aqua Green（アクアグリーン）
↓
Fresh Green（フレッシュグリーン）
↓
Leaf Green（リーフグリーン）
↓
Warm Amber（ウォームアンバー）
↓
Passion Red（パッションレッド）
↓
Vivid Pink（ビビッドピンク）
↓
Pale Pink（ペールピンク）
↓
Dark Violet（ダークバイオレット）
↓
Pure Purple（ピュアパープル）
↓
USER 1（ユーザーカラー1）
↓
USER 2（ユーザーカラー2）
↓
USER 3（ユーザーカラー3）→ COLOR SCANへ戻る

■ユーザーカラーを設定する

お好みに合わせて、アクリルキーの照明色を調整することができます。ユーザーカラーメモリーは3つまで登録できます。

1 [**COLOR**]ボタンを押して、ユーザーカラー(**USER1/2/3**)を選ぶ

2 [**COLOR**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

3 サーチ(**|◀◀**, **▶▶|**)ボタンを押して、調整項目(**R, G, B**)を選ぶ

→点滅している項目が調整できます。

4 [**VOLUME**]ノブを回して調整する

- 調整範囲は、0～8です。

ご注意

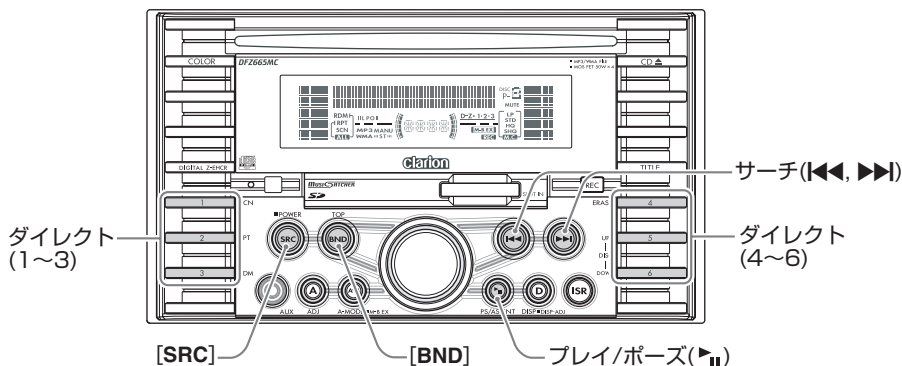
“**R**” “**G**” “**B**” を全てを「**0**」に設定すると、アクリル部分が消灯となります。

5 プレイ/ポーズ(▶❚❚)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**COLOR MEMO**」を表示し、ユーザーカラーをメモリーします。

■プリセットカラー(初期設定値)

カラー	R	G	B
Indigo Blue(インディゴブルー)	0	0	8
Surf Blue(サーフブルー)	0	4	8
Silky White(シルキーホワイト)	8	8	7
Aqua Green(アクアグリーン)	0	8	2
Fresh Green(フレッシュグリーン)	0	8	0
Leaf Green(リーフグリーン)	3	8	0
Warm Amber(ウォームアンバー)	8	3	0
Passion Red(パッションレッド)	8	0	0
Vivid Pink(ビビッドピンク)	8	0	3
Pale Pink(ペールピンク)	8	2	3
Dark Violet(ダークバイオレット)	3	0	8
Pure Purple(ピュアパープル)	6	0	8
USER 1(ユーザーカラー1)	8	8	8
USER 2(ユーザーカラー2)	8	8	8
USER 3(ユーザーカラー3)	8	8	8

ラジオを聴く

ラジオを選ぶ

1 [**SRC**]ボタンを押して、ラジオモードを選ぶ

受信バンドを切り換える

1 [**BND**]ボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

自動メモリーする(オートストア機能)

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

1 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**AUTO STORE**」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- 自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1〜6)に登録されていきます。

ご注意

- 自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- 登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻って、登録をします。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、それまでの登録内容が残ります。

自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押す

→放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、[BND]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押して、放送のあるところに合わせる

→手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

1 ダイレクト(1～6)ボタンを押して、聴きたい放送局を選ぶ

→ディスプレイに放送局とプリセットNo.を表示します。

ご注意

ダイレクト(1～6)ボタンを押し続け(約2秒間)ないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をメモリーします。

プリセットメモリーする

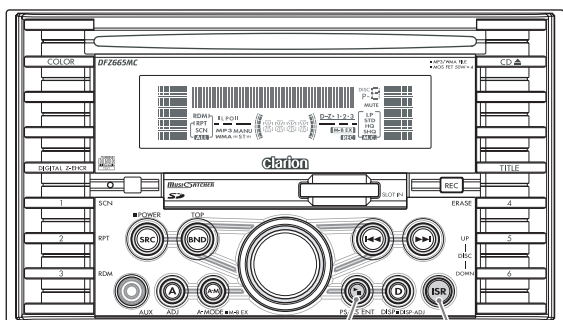
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

1 [BND]ボタンを押して、メモリーしたい受信バンドを選ぶ

2 サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

3 メモリーさせたいダイレクト(1～6)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→押し続けると「ピー」と鳴り、その時押したダイレクトボタンに登録されます。

本機の操作

放送を確かめる（プリセットスキャン）

プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に約7秒間ずつ受信します。

1 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押す

→タイトル表示部に「**PRESET SCN**」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- 受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押し続ける(約2秒間)とオートストア機能になります。ご注意ください。

■ プリセットスキャンを解除するには…

もう一度、プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押してください。

→押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する（ISR機能）

ISR(Instant Station Recall)は、どのソースからでもすぐに特定の放送局を呼出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。

※初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています。

1 [**ISR**]ボタンを押す

→初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数「**AM 1620**」を表示し、ISRに登録されている放送局を選局します。

■ 元のソースに戻すには…

もう一度、[**ISR**]ボタンを押してください。

■ ISRメモリーに登録するには…

登録したい放送局を選局し、[**ISR**]ボタンを押し続け(約2秒間)てください。

→ISRメモリーに登録されます。

MP3/WMAについて

■MP3とは

MPEG 規格のオーディオ・レイヤー3(MPEG audio layer3)に分類される音声圧縮方式で、パソコンユーザーの間で同方式は標準フォーマットとして浸透しています。

オリジナルの音声データを約1/10 のデータ量にまで圧縮でき、更に高音質なのが特長です。1枚のCD-R/RWディスクに、CD約10枚分に相当する音楽を収録することで、ディスク交換不要の長時間再生が可能です。

■WMAとは

●「Windows Media Audio 」の略で、マイクロソフトが開発したオーディオファイルのことです。

●Windows Media™ 、及びWindows ®ロゴは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標および登録商標です。

■DRM(著作権保護)の解除方法について

WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。以下の方法で解除してください。

●**Windows Media Player9ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の録音」**のタブで、**「録音設定」**の中の**「保護された音楽を録音する」**のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

●**Windows Media Player10ご利用時は、「ツール」「オプション」「音楽の取り込み」**のタブで、**「取り込みの設定」**の中の**「取り込んだ音楽を保護する」**のチェックボックスをはずして、再度ファイルを作成してください。

※作成したWMA ファイルは、個人の責任において実施してください。

■MP3/WMAファイル作成時のご注意

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

●MP3の場合のサンプリングレートは11.025kHz ～48kHz 、ビットレートは8kbps ～320kbps/VBRです。

●WMAの場合のビットレートは48kbps ～192kbpsです。

ファイル拡張子

●ファイル拡張子には、必ず半角文字で拡張子**「.MP3 」「.WMA 」「.mp3 」「.wma 」**を付けてください。それ以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかった場合には、再生できません。

論理フォーマット(ファイルシステム)

●MP3/WMAファイルをCD-R/RWに記録する場合、ライティングソフトのフォーマット設定は**「ISO9660(レベル1、2)、JOLIET、ROMEO」**を選択してください。他のフォーマットで記録した場合には正常に再生しない場合があります。

●同一フォルダ内に、同じファイル名を付けないでください。

TAG表示について

●MP3/WMA再生ではフォルダ名、ファイル名、TAG をタイトルとして表示することが可能ですが、名称は、**半角英数/記号(ASCII)**までとなります。それ以外の文字を入力した名称は、正しく表示しない場合があります。

●TAGのないMP3/WMAフォルダは**「NO TAG」**が表示されます。

●MP3 の場合は、**ID3-TAG V2.3/2.2/1.1/1.0**に対応しています。TAG 表示は、**V2.3/2.2**を優先します。

●WMA の場合、アルバムTAGは、拡張ヘッダーに書き込まれた情報を表示します。

フォルダ階層

●フォルダが8階層を超えたディスクについては、再生できません。

ファイル/フォルダ数

●曲のファイル数は、1フォルダあたり255ファイルまで認識します。最大で512ファイルまでの再生が可能となります。

■MP3/WMAディスクの再生について

●MP3/WMAディスクを挿入すると、タイトル表示部に「**FILE READ**」を表示して、ディスク内のすべてのファイルをチェックしたのち、再生が始まります。チェックしている間は、音がでません。読み込めないファイル等、作成したディスクによっては、チェックする時間がかかる場合があります。

●WMAのDRM(著作権保護)がONのままのファイルを再生した場合は、音声が出力されません。**「WMA」インジケータが点滅します。**

●MP3/WMA データでないファイルは再生できません。演奏時間表示部に「**ーー：ーー**」と点滅表示します。

●曲の演奏は記録した順番に行われます。(パソコン上で表示される順番通りに演奏されるとは限りません。)

●記録時のエンコーダーソフトによっては、若干ノイズが発生する場合があります。

●読み込めないファイルは、そのファイルは飛ばして、次ファイルを再生します。

SDメモリーカードについて

●**SDメモリーカードで再生可能なファイルは、MP3、WMAです。**

●SDメモリーカード規格準拠のSDメモリーカードをご使用ください。
FAT12　FAT16　FAT32　VFAT

●使用可能なSDメモリーカードは、32Mbyte～1Gbyteです。

●SDメモリーカードの最大パス名は126byteです。

●本機はSDオーディオには対応しておりません。

●mini SDメモリーカード、MMC(マルチメディアカード)には対応しておりません。

ディスク、SDメモリーカードを入れる

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンスイッチがONまたはACCであればディスクまたはSDメモリーカードを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

⚠注 意

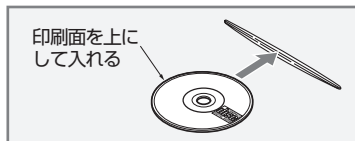
• CD 挿入口、SD メモリーカード挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。

• セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるディスクまたはSDメモリーカードは入れないでください。ディスクまたはSDメモリーカードが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

ご注意

ディスクまたはSDメモリーカードがスムーズに挿入口に入らない場合は、本機に他のディスクまたはSDメモリーカードが入っているか、修理が必要な場合が考えられます。

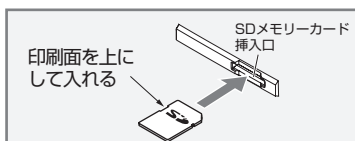
■ディスクの場合

1 CD挿入口にディスクを入れる

→ディスクを入れると、タイトル表示部に「**FILE READ**」を表示します。音楽CD は「**CD PLAY**」を表示したのち、MP3/WMA ディスクは、「**MP3/WMA**」を表示したのちに演奏が始まります。

• CD-RまたはCD-RWで記録されたディスクでも使用できない場合があります。

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCD を入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

■SDメモリーカードの場合

1 SDメモリーカード挿入口にSDメモリーカードを入れる

→SDメモリーカードを入れると、タイトル表示部に「**FILE READ**」を表示したのち、演奏が始まります。

ディスク、SDメモリーカードを取り出す

■ディスクの場合

バックアップイジェクト機能について…
本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、ディスクを取り出すことができます。

1 [**CD⏏**]ボタンを押す

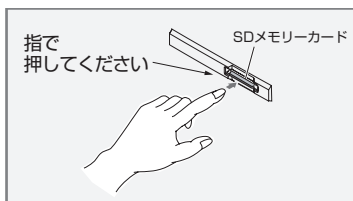
→ディスクがイジェクトされます。

- ディスクをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。（オートリロード機能）
- シングルCDの場合はオートリロードされません。

ご注意

オートリロード前に無理にディスクを押し込むと、ディスク表面にキズがつく恐れがあります。

■SDメモリーカードの場合

1 SDメモリーカードを押す

→SDメモリーカードがイジェクトされたら、取り出します。

ご注意

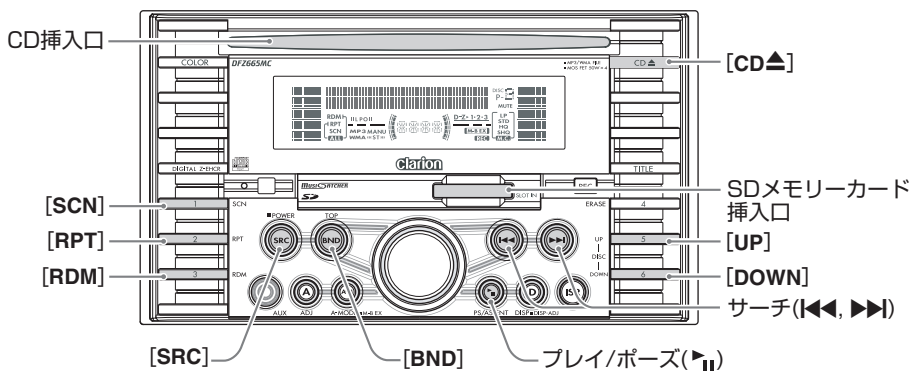
SDメモリーカードを取り出すときに飛び出すことがありますので、ご注意ください。

すでに入っているディスク、SDメモリーカード、MCを聴く

1 [**SRC**]ボタンを押して、CD/MP3/WMA、MC、またはSDモードを選ぶ

→CD/MP3/WMA、MC、またはSDモードになると、自動的に演奏が始まります。
ディスクまたはSDメモリーカードが入っていないときは、タイトル表示部に「**NO DISC**」または「**NO SD CARD**」と表示します。

- 録音後にMCモードに切り換えたときは、最後に録音したトラック(曲)から演奏をはじめます。
- 他のソースからMCモードに切り換えたときは、前回停止した曲の途中から演奏をはじめます。

本機の操作

曲を選ぶ

1 次の曲を聴くときは、サーチボタンの[▶▶|]を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの[|◀◀]を2回押す

- 曲の頭部分を演奏しているときに[|◀◀]を2回押すと、2曲前へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

1 早送りするときは、サーチボタンの[▶▶|]を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの[|◀◀]を押し続ける

- MP3/WMAディスク、MC、またはSDメモリーカードの場合は、サーチ開始および曲間で多少時間がかかります。また、演奏時間表示に誤差が生じる場合があります。

演奏を止める(一時停止する)

1 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押す

→タイトル表示部に「**PAUSE**」を表示します。

■ 続けて演奏を聴きたいときには…
もう一度、プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について…
演奏しているディスクまたはフォルダの最初の曲から演奏をはじめます。

1 [**BND**]ボタンを押す

→最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。
MP3/WMAディスク、MC、またはSDメモリーカードの場合は、演奏中のフォルダの1曲目に戻ります。

フォルダを切り換える(フォルダ選択モード)

フォルダ選択モードについて…
MP3/WMAディスク、MC、またはSDメモリーカード再生時、フォルダを選択してそのフォルダ内の最初の曲から演奏します。

1 次のフォルダの曲を聴くときは、[**UP**]ボタンを押す

前のフォルダの曲を聴くときは、[**DOWN**]ボタンを押す

いろいろな演奏 （スキャン/リピート/ランダム演奏）

■聴きたい曲を探す（スキャン演奏）

全曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [**SCN**]ボタンを押す

→ディスプレイの「**SCN**」が点灯して、スキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■聴きたいフォルダを探す（フォルダスキャン演奏）

MP3/WMA ディスク、MC、またはSDメモリーカード内の全てのフォルダの最初の曲を約10 秒間ずつ演奏します。

1 [**SCN**]ボタンを押し続ける(約1 秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**SCN**」が点灯して、フォルダスキャン演奏をします。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

■1曲を繰り返し聴く（リピート演奏）

演奏中の曲を繰り返し演奏します。

1 [**RPT**]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RPT**」が点灯して、リピート演奏をします。

■フォルダ内の曲を繰り返し聴く（フォルダリピート演奏）

MP3/WMAディスク、MC、またはSDメモリーカード再生時、演奏中のフォルダ内の曲を繰り返し演奏します。

1 [**RPT**]ボタンを押し続ける(約1 秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RPT**」が点灯して、フォルダリピート演奏をします。

■ランダムに演奏を聴く（ランダム演奏）

音楽CDの場合はCDに収録されている曲、MP3/WMAディスク、MC、またはSDメモリーカードの場合は演奏中のフォルダ内の曲を順不同に演奏します。

1 [**RDM**]ボタンを押す

→ディスプレイの「**RDM**」が点灯して、ランダム演奏をします。

■ランダムに演奏を聴く（フォルダランダム演奏）

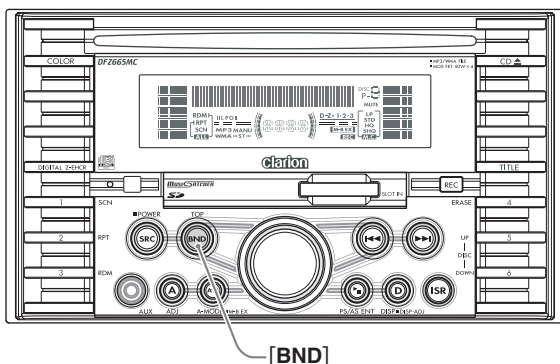
MP3/WMAディスク、MC、またはSDメモリーカード内の全てのフォルダの全ての曲を順不同に演奏します。

1 [**RDM**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RDM**」が点灯して、フォルダランダム演奏をします。

■演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押す

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

演奏するディスクの種類を設定する(マルチセッション機能(CDのみ))

マルチセッション機能について…
音楽CDの曲とMP3/WMAの曲が混在しているディスクのときに、どのタイプで記録された曲を演奏するかを選択できます。
※初期設定は「**M-SESS CD**」です。

1 [**BND**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→押し続けるたびに音楽CDとMP3/WMAを切り換えます。切り換え時にディスプレイに次のように表示します。

• 音楽CD選択時の表示　：*M-SESS CD*

↕

• MP3/WMA選択時の表示：*M-SESS MP3*

• 演奏できる記録タイプは以下のようになります。

設定 / ディスク	M-SESS CD	M-SESS MP3
音楽CD、MP3/WMA混在	音楽CDを演奏	MP3/WMAを演奏
音楽CDのみ	音楽CDを演奏	音楽CDを演奏
MP3/WMAのみ	MP3/WMAを演奏	MP3/WMAを演奏

• 設定した後は、一度ディスクを取り出して再挿入してください。
• CD/MP3/WMAの混在したディスクを演奏した場合に「**M-SESS CD**」に設定すると、MP3タイプの曲は、音がでません。サーチボタンを押して別の曲を選曲してください。

ご注意

コピーコントロールCDを再生するときは、「CD」を選択してください。「MP3/WMA」を選択すると再生できない場合があります。

ミュージックキャッチャー Ⅱ(MC)で録音する

録音時のご注意

●音楽CD、CD-Rを4倍速で録音することが可能です。

●CD-RWからの録音は2倍速となります。

●ミュージックキャッチャーⅡへの録音は、音楽CD(CD-R、CD-RW)のみです。SDメモリーカード、MP3/WMAディスク、AUXやラジオ音源からは録音できません。

●CD演奏中に録音を開始した場合でも、CDの最初の曲または曲の最初に戻って録音します。

●1枚の音楽CDで数曲を録音し、後で残りの曲を録音した場合は、録音済みの曲を除いた残りの曲を、同一フォルダ内に録音します。

●録音終了時には、再生位置が演奏中の曲の先頭に戻ります。これは録音速度と再生速度が違うために起こる現象であり、故障ではありません。

●録音中と録音後で、音質が変わる場合があります。これは録音中はミュージックキャッチャーⅡへ録音した音源を再生しているためであり、故障ではありません。

●ミュージックキャッチャーⅡ再生時の音質が悪いと感じましたら、録音モードをSHQモードもしくはHQモードへ変更し、再度録音してください。

●ミュージックキャッチャーⅡの録音では、曲間に多少の無音時間を生じます。

●フォルダ名/トラック名は録音時に自動的に付けられます。

<表示例>

フォルダ名：FLD00001

トラック名：TRACK 01

フォルダ名は、お好きなタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルを削除したときは、録音時に付与されたフォルダ名に戻ります。(設定のしかたは、「タイトルを入力する」(35ページ)をご覧ください。)
トラック名の変更はできません。

●録音不可能なディスクの場合は、「**NO REC DSC**」を表示します。

●録音済みであった時は、「**INCLUDED**」を表示します。

●空きフォルダが無い場合は、「**FLD FULL**」を表示します。

●録音中にメモリー容量が無くなった場合は、「**MEMO FULL**」を表示して、録音がキャンセルされます。

●スキャン/リピート/ランダム中の録音はできません。この場合、「**BUSY**」を表示をします。

●録音中、プレイ/ポーズ(▶❚❚)ボタン、サーチ(⏮, ⏭)ボタン、[**BND**]ボタン、[**SCN/RPT/RDM**]ボタンは無効になります。これらのボタンを押した場合、「**INVALID**」を表示をします。

録音残量時間を確認する

「録音残量時間を確認する(MC AVIL)」(41ページ)をご覧ください。

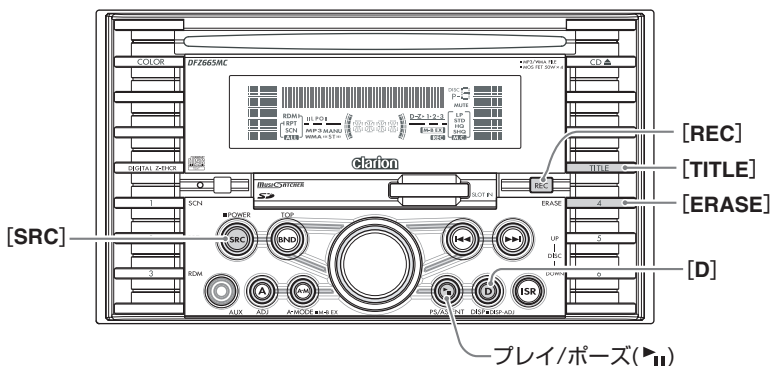
ミュージックキャッチャーⅡの録音モードを設定する

「ミュージックキャッチャーⅡの録音モードを設定する(MC-REC)」(41ページ)をご覧ください。

■MCの録音時間について

MCにメモリーできる時間(録音)は録音モードにより異なります。
※初期設定は、「**STD**」です。

・**SHQ** ：248分
・**HQ** ：331分
・**STD** ：497分
・**LP** ：663分

本機の操作

CDを録音する

ミュージックキャッチャーⅡの録音は、CD/MP3/WMAモードで行い、ＣＤ全曲を録音する“**DISC REC**”と、演奏中の1曲を録音する“**TRACK REC**”の2通りがあります。

■ＣＤの全曲を録音する(DISC REC)

1 [**SRC**]ボタンを押して、CD/MP3/WMAモードを選ぶ

2 CDを演奏し、[**REC**]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**DISC REC**」を表示し、ディスプレイの[**REC**]インジケータが点滅して、CDの最初の曲から録音を開始します。
録音を終了すると[**REC**]インジケーターが消灯し、タイトル表示部に[**REC DONE**]を表示します。

■演奏中の曲を録音する(TRACK REC)

1 [**SRC**]ボタンを押して、CD/MP3/WMAモードを選ぶ

2 曲を演奏し、[**REC**]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**TRACK REC**」を表示し、ディスプレイの[**REC**]インジケータが点滅して、曲の最初から録音を開始します。
録音を終了すると[**REC**]インジケータが消灯し、タイトル表示部に「**REC DONE**」を表示します。

録音を解除する

1 もう一度、[**REC**]ボタンを押す

→タイトル表示部に「**CANCELED**」を表示して、演奏中の曲の先頭に戻ります。

ご注意

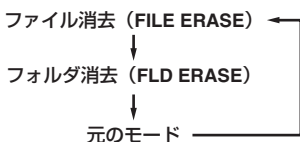
・以下の操作をしたときも、録音が解除されます。
[**SRC**]ボタンを押したとき
[**ISR**]ボタンを押したとき
CDをイジェクトしたとき
SDメモリーカードを挿入したとき
・録音を解除すると、途中まで録音されていたファイルは削除されます。

タイトルをつける

曲を消去する(TRACK ERASE/FOLDER ERASE)

一つのファイルを消去する“**TRK ERASE**”と、フォルダごと消去する“**FLD ERASE**”および全ての曲を消去する“**ALL ERASE**”の3通りがあります。

1 MCモードで消去したい曲を演奏し、[**ERASE**]ボタンを押す

→押すたびに、次のように切り換わります。

2 消去モード表示中にプレイ/ポーズ(▶❚❚)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**ERASING**」を表示して、演奏中のファイルまたはフォルダを消去します。

ご注意

消去中に[**SRC**]ボタンの操作は行わないでください。(電源のON/OFFおよびモード切り換え)

全ての曲を消去する(ALL ERASE)

1 MCモード中に[**ERASE**]ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**ALL ERASE**」を表示します。

2 「**ALL ERASE**」表示中にプレイ/ポーズ(▶❚❚)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**ERASING**」を表示して、全てのメモリー内容を消去します。

タイトルを入力する

タイトル入力について…

ラジオやTVの放送局やCDに10文字までのタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。(ラジオ、TV、MCモード時および音楽CD再生時)

入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオ　：30タイトル
- TV　：20タイトル
- CD　：50タイトル
- CDチェンジャー　：100タイトル

1 ラジオモード、TVモードの場合は、チューナーまたはTVエリアを「**USER TITLE**」に設定する

- ラジオ、TVのエリアを「**USER TITLE**」に切り換えるには、「**チューナーエリアを設定する(TUN AREA)**」(42ページ)、「**TVエリアを設定する(TV AREA)**」(43ページ)をご覧ください。

2 タイトルをつけたいラジオ、TV局を受信する、またはCD、MCを演奏する

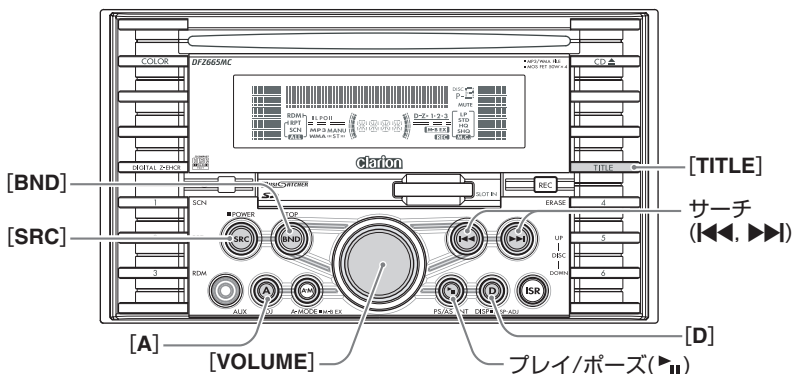
3 [**D**]ボタンを押して、タイトル表示にする

- CDモード、CDチェンジャーモードの場合は、[**TITLE**]ボタンを押して「**USER**」に切り換えてください。MCモードの場合は[**TITLE**]ボタンを押して、「**FOLDER**」に切り換えてください。詳しくは「**表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える**」(17ページ)をご覧ください。

4 [**TITLE**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力モードになります。

次ページに続く

本機の操作

5 サーチ(|◀◀, ▶▶|)ボタンを押して、入力位置を決める

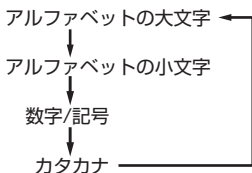
→点滅している入力位置が左右に移動します。

- 入力できる文字数は、10文字です。

ご注意

ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーは全て消去されますのでご注意ください。

6 [**BND**]ボタンを押して、文字の種類を選ぶ

→ボタンを押すと、次のように文字の種類が切り換わります。

入力文字種類

- アルファベット大文字
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z (スペース)
- アルファベット小文字
  a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? α * # $ % & ¥ + − × / =( )〈 〉" → ← ↑ ↓ ↔ ↕ ♂ ♀ ★ ♥ ◆ ♯ ♭ ♪ ♪ ♬ ♬
- カタカナ
  ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ ゛ ゜ ー「 」

7 [**VOLUME**]ノブを回して、入力文字を決める

8 入力を終えたら、プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**TITLE MEMO**」を表示し、タイトルがメモリーされます。

イージーインプットをする

イージーインプットについて…
本機は、チューナーおよびTVエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうち、プリセットチャンネルにメモリーされているタイトルを「**USER TITLE**」にコピーすることができます。(イージーインプット機能)

ご注意

イージーインプットをすると、すでにメモリーされているチューナータイトルは全て消去されます。

1 [**SRC**]ボタンを押して、ラジオモードまたはTVモードにする

2 [**A**]ボタンを押して、アジャストモードにする

3 サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押して、「**TUN AREA E**」または「**TV AREA E**」を選ぶ

4 プレイ/ポーズ(▶❚❚)ボタンを押す

5 [**VOLUME**]ノブを回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ

- 受信エリアについては、「**チューナーエリアを設定する(TUN AREA)**」(42ページ)「**TVエリアを設定する(TV AREA)**」(43ページ)をご覧ください。

6 プレイ/ポーズ(▶❚❚)ボタンを押し続ける(約2秒間)

7 [**A**]ボタンを押して、元のモードに戻る

タイトルを削除する

1 [**SRC**]ボタンを押して、、ソースを選ぶ(ラジオ、TV、CD、MCまたはCDチェンジャーモード)

2 削除したいタイトルの放送局を受信するまたはCD、MCを演奏する

3 [**D**]ボタンを押して、タイトル表示にする

4 [**TITLE**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部の文字入力位置が点滅して、タイトル入力表示になります。

5 [**BND**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトルが消えます。

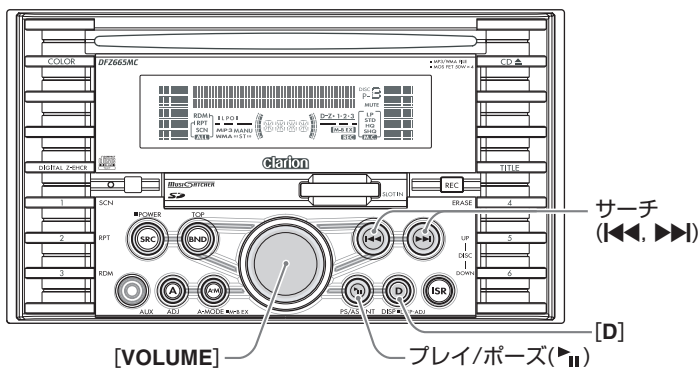
ご注意

一文字の削除はできません。

6 プレイ/ポーズ(▶❚❚)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトルが削除されます。

本機の操作

設定を変更する(アジャストモード)

ディスプレイ設定項目の選びかた

1 [**D**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→タイトル表示部に前回調整した項目「**CLOCK E**」等を表示して、ディスプレイアジャストモードになります。

2 サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、右図のように切り換わります。

- 設定項目に「**E**」表示があるときは、プレイ/ポーズ(▶ll)ボタンを押して調整内容を表示します。

■設定を終えたら…

[**D**]ボタンを押してください。

●設定項目リスト

スクリーンセーバーを設定する(SCRN SVR)

お好みの表示を選ぶことができます。
※初期設定は、「**SS ON**」です。

1 『ディスプレイ設定項目の選びかた』の手順で「**SCRN SVR**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **SS ON** ：スクリーンセーバーを表示します。
- **SS OFF** ：スクリーンセーバーを表示しません。
- **SS MESSAGE**：メッセージを表示します。

メッセージを入力する(MSG INPUT)

本機では英数カナ文字を使用して30文字まで入力することができ、この機能で入力したメッセージをスクリーンセーバーとして設定することができます。
※初期設定は、「**Welcome to clarion**」です。

1 『ディスプレイ設定項目の選びかた』の手順で「**MSG INPUT** E」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押して、メッセージ入力にする

- 「タイトル入力をする」(35ページ) の手順5～7を繰り返して、メッセージを入力します。

3 メッセージ入力を終えたら、プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押し続ける(約2秒間)

→タイトル表示部に「**MSG MEMORY**」を表示してメモリーします。

- 入力の途中でプレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押したときは、メッセージ入力モードをキャンセルし、元の状態に戻ります。

タイトルスクロール方法を設定する(AUTO SCRL)

タイトルスクロールは、タイトルが表示文字数より長いときに、タイトルの末尾まで文字送りをして確認できる機能です。
※初期設定は、「**ON**」です。

1 『ディスプレイ設定項目の選びかた』の手順で「**AUTO SCRL**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **ON** ：自動でスクロールを始め、スクロールを繰り返します。
- **OFF** ：[**TITLE**]ボタンを押し続ける(約1秒間)と、1回のみスクロールします。

ご注意

音楽CD再生時やCDチェンジャーモード時に「**USER TITLE**」を選択している場合、MCモード時に「**FOLDER**」を選択している場合は、タイトルスクロールはしません。この状態で[**TITLE**]ボタンを押し続けると(約1秒間)、タイトル入力モードになりますので、ご注意ください。

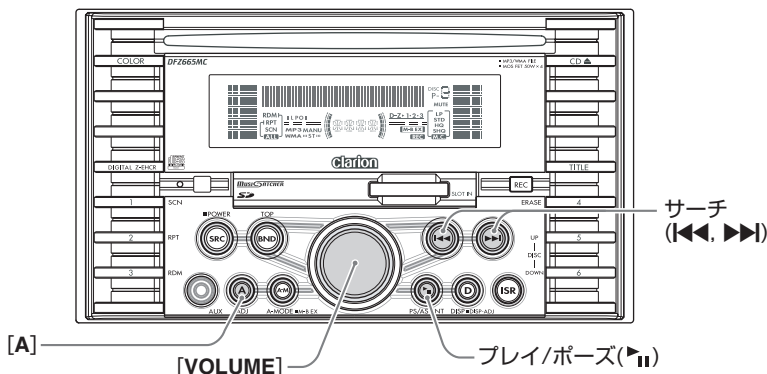
タイトルスクロール速度を設定する(SCRL SPEED)

タイトルスクロール速度を設定することができます。
※初期設定は、「**2**」です。

1 『ディスプレイ設定項目の選びかた』の手順で「**SCRL SPEED**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- 調整範囲は、1 ～6 です。
1が一番速く、6が一番遅くなります。

本機の操作

ディスプレイ照明を設定する (DIMMER)

車のイルミネーションに連動させて、ディスプレイと操作ボタンの照明を減光させせることができます。

※初期設定は、「**ON**」です。

照明の減光時、照明色によっては若干色調が変化する場合があります。

1 『ディスプレイ設定項目の選びかた』の手順で「**DIMMER**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **ON** ：車のイルミネーションに連動して、ディスプレイと操作ボタンの照明を減光します。
- **OFF** ：連動しません。

ディスプレイのコントラストを調整する (CONTRAST)

ディスプレイのコントラスト(色合い)を本機の取付角度に合わせて調整することができます。

※初期設定は、「**5**」です。

1 『ディスプレイ設定項目の選びかた』の手順で「**CONTRAST**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- 調整範囲は、1 〜16 です。
  ディスプレイ表示の変化を見ながら設定してください。

その他設定項目の選びかた

1 [**A**]ボタンを押す

→タイトル表示部に前回調整した項目「**MC AVIL E**」等を表示して、アジャストモードになります。

2 サーチ(⏮, ⏭)ボタンを押して、設定する項目を選ぶ

→押すたびに、右図のように切り換わります。

- 設定項目に「**E**」表示があるときは、プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押して調整内容を表示します。

■設定を終えたら…
[**A**]ボタンを押してください。

●設定項目リスト

MC AVIL「E」
• MCの録音可能時間
↕
MC-REC
• MCの録音モードの設定
↕
BLINK LED
• 盗難防止インジケータの設定
↕
BEEP
• ビープ音の設定
↕
TUN AREA「E」
• チューナーエリアの設定
↕
TV AREA「E」
• TVエリアの設定(TVチューナー接続時)
↕
ST/MONO
• TV受信時のステレオ/モノラルの設定(TVチューナー接続時)
↕
MAIN/SUB
• TV受信時の主音声/副音声の設定(TVチューナー接続時)
↕
TV DIVER
• TVダイバーの設定(TVチューナー接続時)
↕
AUX SENSE
• 携帯用オーディオの入力レベルを設定
↕
SYS CHECK「E」
• システムのチェック

録音残量時間を確認する(MC AVIL)

設定されている録音モードでのおおよその残量時間を、「分：秒」で表示します。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で、「**MC AVIL E**」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押す

→録音残量を表示します。

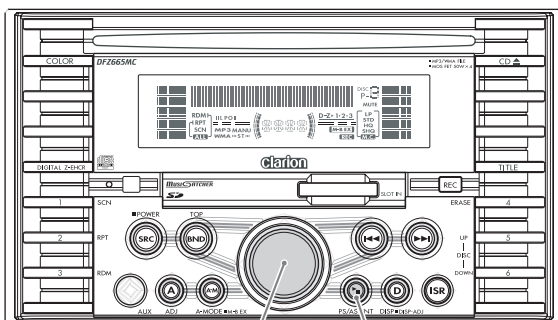
ミュージックキャッチャーⅡの録音モードを設定する(MC-REC)

ミュージックキャッチャーⅡの録音モードを設定することができます。
※初期設定は「**STD**」です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**MC- REC**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **SHQ** ：約248分
- **HQ** ：約331分
- **STD** ：約497分
- **LP** ：約663分

本機の操作

盗難防止インジケータを設定する(BLINK LED)

車のエンジンスイッチがOFFのときにリセットボタンを赤く点滅させ、視覚的効果による盗難抑止効果を発揮します。
※初期設定は「**OFF**」です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**BLINK LED**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **ON**　：リセットボタンが点滅します。
- **OFF**：リセットボタンが点滅しません。

ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。
※初期設定は、「**ON**」です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**BEEP**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **ON**　：ビープ音が鳴ります。
- **OFF**：ビープ音が鳴りません。

チューナーエリアを設定する(TUN AREA)

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。
※初期設定は、「コウイキ カントウ」(広域 関東)です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**TUN AREA E**」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押して、エリアを表示する

3 [**VOLUME**]ノブを回して、エリアを選ぶ

●エリア表示名

• **USER TITLE**(タイトル入力された放送局名)
• ホッカイドウ(北海道)
• トウホク(東北)
• コウイキ カントウ(広域 関東)
• コウイキ トウカイ(広域 東海)
• ホクリク(北陸)
• キンキ(近畿)
• チュウゴク(中国)
• シコク(四国)
• キュウシュウ(九州)
• オキナワ(沖縄)

4 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押して確定する

TVエリアを設定する (TV AREA)

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)
※初期設定は、「カントウ」(関東)です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**TV AREA E**」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押して、エリア設定を表示する

3 [**VOLUME**]ノブを回して、エリアを選ぶ

●エリア表示名

• USER TITLE(タイトル入力された放送局名)	
• サッポロ(札幌)	• トウホクA(東北A)
• センダイ(仙台)	• トウホクB(東北B)
• フクシマ(福島)	• シンエツ(信越)
• カントウ(関東)	• シズオカ(静岡)
• トウカイチュウブ(東海中部)	
• ホクリク(北陸)	• キンキ(近畿)
• サンイン(山陰)	• オカヤマ(岡山)
• サンヨウ(山陽)	• シコクA(四国A)
• シコクB(四国B)	
• キュウシュウA(九州A)	
• キュウシュウB(九州B)	
• キュウシュウC(九州C)	
• カゴシマ(鹿児島)	• オキナワ(沖縄)

4 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押して確定する

TV 受信時のステレオ/モノラルを設定する(ST/MONO)

TV 放送受信時の音声(ステレオ/モノラル)を設定します。(TV チューナー接続時)
※初期設定は「**TV ST**」です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**ST/MONO**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

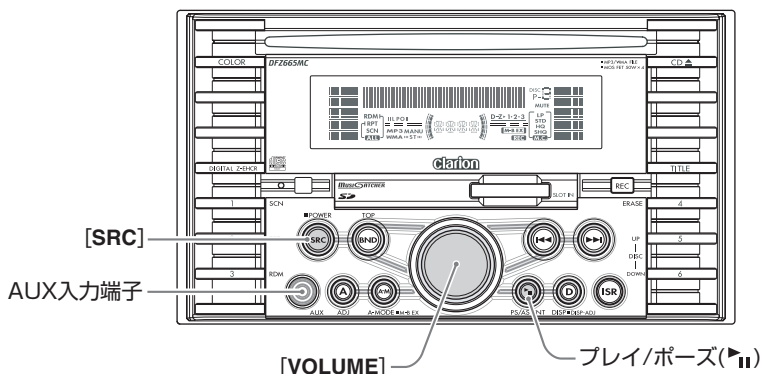
- **TV ST**　：ステレオに設定します。
- **TV MONO**　：モノラルに設定します。

TV受信時の主音声/副音声を設定する(MAIN/SUB)

TV放送受信時の音声(主音声/副音声)を設定します。(TVチューナー接続時)
※初期設定は、「**TV MAIN**」です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**MAIN/SUB**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **TV MAIN**　：主音声を再生します。
- **TV SUB**　：副音声を再生します。

TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

※初期設定は、「**ON**」です。
TVダイバーシティアンテナを使用していないときはOFFに設定し直してください。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**TV DIVER**」を選ぶ

2 [**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **ON** ：TVダイバーシティアンテナを使用します。
- **OFF** ：TVダイバーシティアンテナを使用しません。

携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENSE)

本機に接続された市販の携帯用オーディオの入力レベルを設定します。
※初期設定は、「**MID**」です。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**AUX SENSE**」を選ぶ

[**VOLUME**]ノブを回して設定する

- **LOW** ：入力レベルが高く音割れなどが発生しているとき
- **MID** ：通常レベルのとき
- **HIGH**：入力レベルが低いとき

システムをチェックする(SYS CHECK)

マニュアルでシステムをチェックします。

1 『その他の設定項目の選びかた』の手順で「**SYS CHECK** E」を選ぶ

2 プレイ/ポーズ(▶II)ボタンを押し続ける(約1秒間)

→システムチェックを開始し、チェックを完了すると、元のモードに戻ります。

携帯用オーディオを聴く(AUX)

本機に市販の携帯用オーディオなどを接続して音楽ソースを聴くことができます。
別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)は接続できません。

1 [**SRC**]ボタンを押して、AUXモードを選ぶ

→AUXモードになると、接続された携帯用オーディオのプレイ操作で、音が再生されます。

■音が割れる/音が小さいときには…
本機への入力レベルを調整してください。詳しくは、「携帯用オーディオの入力レベルを設定する(AUX SENSE)」（44ページ）をご覧ください。

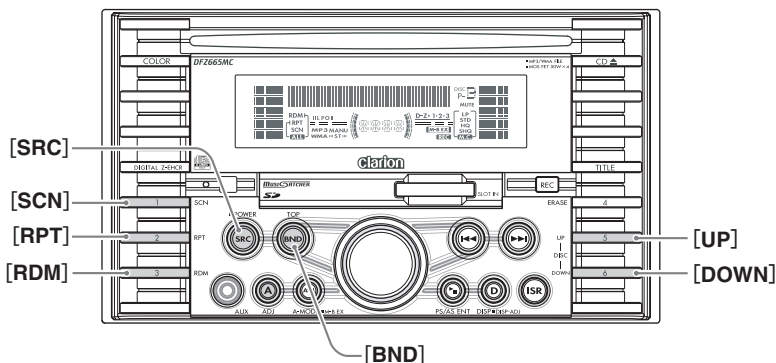
携帯用オーディオの接続のしかた

■AUX入力の接続のしかた
市販のステレオミニプラグコードを使用して、携帯用オーディオを本機正面パネルのＡＵＸ入力端子へ接続してください。

ご注意

プラグを接続している状態で、プラグに無理な力を加えないでください。また、携帯用オーディオを使用しないときには、プラグを抜いてください。

CDチェンジャーを操作する

<CDチェンジャーの操作について>

次の操作はCDと同様の操作です。

- 曲を選ぶ
- 早送り/早戻し
- 一時停止
- スキャン/リピート/ランダム演奏

「CD/MP3/WMA、ミュージックキャッチャーⅡ(MC)、SDメモリーカードを聴く」(30〜31ページ)をご覧ください。

CDチェンジャーについて…

別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続すると、本機でCDチェンジャーをコントロールすることができます。CeNET結線対応のCDチェンジャーを2台まで接続できます。

CDチェンジャーを選ぶ

1 [**SRC**]ボタンを押してCDチェンジャーモードを選ぶ

→CDチェンジャーモードになると、自動的に演奏が始まります。

■2台のCDチェンジャーを接続したときは…

[**SRC**]ボタン押して、接続したCDチェンジャーを選択してください。

- CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「**NO MAG**」と表示されます。
- タイトル表示については、「表示(メイン/タイトル/時計)を切り換える」(17ページ)をご覧ください。

聴きたいディスクを選ぶ

1 次のディスクを聴くときは、[**UP**]ボタンを押す

前のディスクを聴くときは、[**DOWN**]ボタンを押す

- [**BND**]ボタンを押して、次のディスクに切り換えることもできます。

いろいろな演奏(ディスクスキャン/ディスクリピート/ディスクランダム演奏)

■聴きたいディスクを探す（ディスクスキャン演奏）

CDチェンジャー内のディスクの最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

1 [**SCN**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**SCN**」が点灯して、ディスクスキャン演奏をします。

• ディスクスキャン演奏は、演奏しているディスクの次のディスクからはじまります。

■1枚のディスクを繰り返し聴く（ディスクリピート演奏）

演奏中のディスクを繰り返し演奏します。

1 [**RPT**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→ディスプレイの「**ALL**」と「**RPT**」が点灯して、ディスクリピート演奏をします。

■全ディスクの演奏をランダムに聴く（ディスクランダム演奏）

CDチェンジャー内のディスクの曲を順不同に演奏します。

1 [**RDM**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

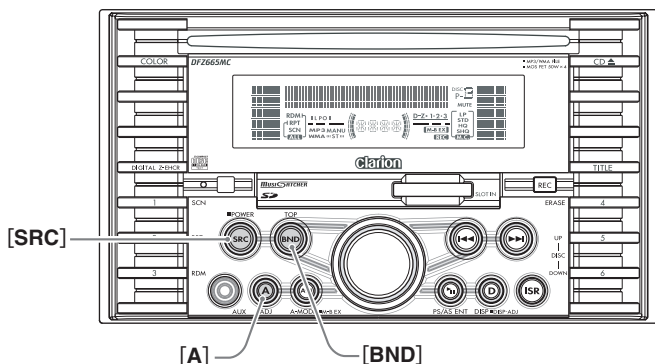
→ディスプレイの「**ALL**」と「**RDM**」が点灯して、ディスクランダム演奏をします。

■ 演奏を解除するには

1 もう一度、同じ演奏ボタンを押してください。

→ディスプレイの演奏状態表示が消えて、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

テレビを見る

<TVの操作について>

次の操作はラジオと同様の操作です。
- 自動メモリー(オートストア)
- 自動選局/手動選局/プリセット選局
- プリセットメモリー
- プリセットスキャン

「ラジオを聴く」(24〜26ページ)をご覧ください。

TVチューナーコントロール機能について…

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

警 告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車してください。

ご注意

ご使用になる前に、次の項目を確認して設定を変更してください。
- TVダイバーシティアンテナを使用しないときは、「TVダイバーシティを設定する(TV DRIVER)」(44ページ)で、設定を「OFF」にしてください。
- 受信地域内の放送局を表示させたいときは、「TVエリアを設定する(TV AREA)」(43ページ)で受信エリアを設定してください。

TVを選ぶ

1 [**SRC**]ボタンを押して、TVモードを選ぶ

受信バンドを切り換える

1 [**BND**]ボタンを押して、TV1またはTV2を選ぶ

→押すたびに、次のように切り換わります。

TV1 → TV2 (→ TV1)

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

1 [**A**]ボタンを押し続ける(約1秒間)

→TVからVTRに切り換わります。
TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

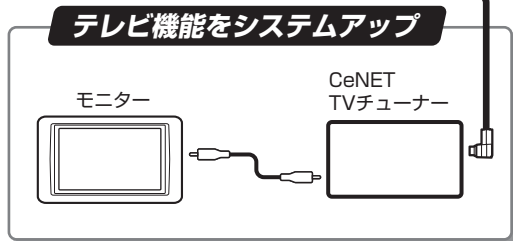
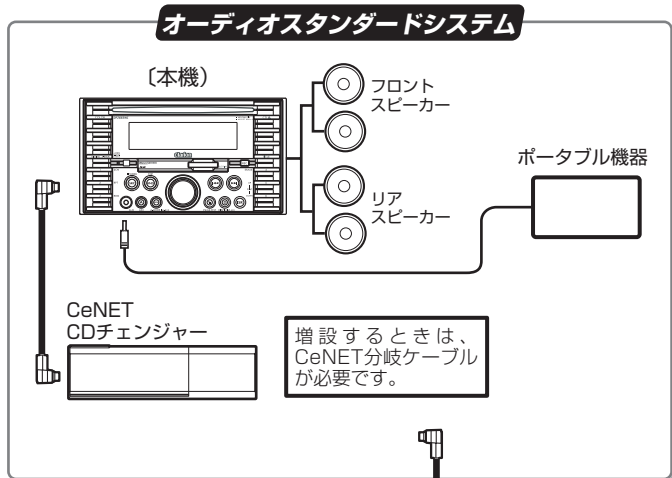
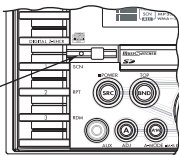
■TVに戻すには…

もう一度、[**A**]ボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

システムアップについて

本機はCeNET結線対応の外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張ができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、配線長が20mを越えないようにご注意ください。

- CDチェンジャー同梱のケーブル長…5m
- 分岐ケーブル(CCA-519)…1m
- 延長ケーブル(CCA-520)…2.5m
- 延長ケーブル(CCA-521)…0.6m

故障かな？と思われたら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	現　　象	原　　因	処　　置
共通	電源が入らない （音が出ない）	ヒューズが切れている	入っていたものと同じ容量のヒューズと交換してください。 再度切れる場合は、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コードまたはリモートオンコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオンコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプ等接続時のリモートオンコードの電流容量不足	接続するパワーアンプ等について、お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、またはディスプレイが正確に表示されない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを、細い棒などで約2秒間押してください。 リセットボタン リセットボタンを押したときは、設定したプリセットメモリー等が全て消去されますので、もう一度設定し直してください。
	音が出なくなった	スピーカー保護回路が動作している	1. 音量をもう少し絞ってお聞きください。また、電源のOFF→ON（[**SRC**]ボタンを押すこと）で復帰します。 2. 再度、短時間で音が出なくなる場合は最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局モードで選局してください。

	現　象	原　因	処　置
CD／MP3／WMA SD	音がでない	ディスクを裏表逆に入れている	ディスクの印刷面を上にして入れてください。
		ディスクまたはSDカードにMP3/WMAファイルがない	ディスクまたはSDメモリーカードにMP3/WMAファイルを正しく書き込んでください。
		ファイルがMP3/WMAファイルではない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEOでファイルを作成してください。SDメモリーカードの場合、FAT12、FAT16、FAT32、VFATでフォーマットしてください。
	音飛びする ノイズなどが入る	ディスクが汚れている	ディスクを柔らかい布でふいてください。
		MP3/WMAファイルが正しくエンコードされていない	正しくエンコードされたMP3/WMAファイルをご使用ください。
		ディスクに大きい傷やソリがある	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後音質が悪い	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがある	電源を入れた状態にして1時間乾燥させてください。
	ファイル名が違う	ファイルシステムが正しくない	ISO9660レベル1、2、JOLIET、ROMEOでファイルを作成してください。SDメモリーカードの場合、FAT12、FAT16、FAT32、VFATでフォーマットしてください。
MC	録音できない	MP3/WMAディスクを再生している（**NO REC DSC**）	MCで録音できるのは、音楽CD（CD-DA）のみです。 CDモードに切り換え、音楽CDを再生してください。
		CD以外のソースから録音しようとしている	
		SCN、**RPT**、**RDM**がONになっている(**BUSY**)	**SCN**、**RPT**、**RDM**を解除してから録音してください。
		すでに録音済みの曲を録音しようとしている(**INCLUTED**)	同じ曲の上書き録音はできません。 一旦、消去してから録音してください。
		空きフォルダが無い(**FLD FULL**)	フォルダを消去して下さい。
		メモリーがいっぱい(**MEMO FULL**)	フォルダまたはファイルを消去してください。
	録音終了時に曲の先頭に戻る	メモリー再生からCDの再生に切り換わっている	製品仕様です。故障ではありません。
	音が悪い	**LP**モードでは録音時間を優先するため若干音質が悪くなる	**SHQ**または**HQ**モードで録音し直してください。
	曲を消去しても残時間が増えない	残時間は誤差分を考慮して算出しているため、短い曲を消去しても時間が増えないことがある	製品仕様です。故障ではありません。
その他	ディスプレイに「**エラー表示**」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「**エラー表示について**」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
CD/MP3/WMA	**ERROR2**	ディスクが引っかかって、イジェクトされないとき	CDメカニズムの故障と思われます。お買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	ディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。
	ERROR8	DSPエラー	電源のOFF→ON（[**SRC**]ボタンを押すこと）で復帰。
MC	**ERROR7**	メモリーのフォーマットがこわれた	メモリーの全曲消去(**ALL ERASE**)で復帰。
	ERROR8	メモリーまたはDSPに障害が生じていること	電源のOFF→ON（[**SRC**]ボタンを押すこと）で復帰。復帰しない場合は、メモリーの全曲消去(**ALL ERASE**)で復帰。
	ERROR9	録音中のエラー、DISCの傷、音飛びによるエラー	電源のOFF→ON（[**SRC**]ボタンを押すこと）またはCDをイジェクトで復帰。
SD	**ERROR7**	SDメモリーカードのフォーマットがこわれた	SDメモリーカードを再挿入してください。それでもエラー表示が消えない場合は、SDメモリーカードを、FAT12、FAT16、FAT32、VFATでフォーマットしてください。
	ERROR8	DSPエラー	電源のOFF→ON（[**SRC**]ボタンを押すこと）で復帰。
CDチェンジャー	**ERROR2**	CDチェンジャー内のディスクがローディングできないとき	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	ディスクに傷などがあり、演奏できないとき	傷やソリのないディスクと交換してください。
	ERROR6	マガジン内のディスクを裏返しに入れ、演奏できないとき	ディスクをイジェクトし、正しく入れ直してください。
		ブランクディスク(無録音)を入れたとき	録音されているディスクと交換してください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

仕　様

■CDプレーヤー部

周波数特性　：5Hz～20kHz±1dB
SN比　：100dB
ダイナミックレンジ　：95dB
高調波ひずみ率　：0.01%

■FMチューナー部

受信周波数　：76.0MHz～90.0MHz
実用感度　：9dBf
50dBクワイティング感度：15dBf
SN比　：70dB
周波数特性　：30Hz～15kHz±3dB
分離度　：35dB（1kHz）
高調波ひずみ率　：0.3%（1kHz）

■AMチューナー部

受信周波数　：522kHz～1,629kHz
実用感度　：28dBμV
SN比　：50dB

■MP3部

MP3 デコード：
　MPEG - 1 、オーディオレイヤー3 準拠
サンプリングレート
　MPEG-1　：32kHz,44.1kHz,48kHz
　MPEG-2　：16kHz,22.05kHz,24kHz
　MPEG-2.5：11.025kHz,12kHz
ビットレート
　MPEG-1　：32k ～320kbps/VBR
　MPEG-2　：8k ～160kbps/VBR
　MPEG-2.5：8k ～160kbps/VBR
セクタ構造：
　CD-ROMモード1、モード2-フォーム1（自動判別）
論理フォーマット：
　ISO9660 レベル1,2/JOLIET/ROMEO
フォルダ構造　：8 階層
フォルダ数　：最大255
ファイル数　：最大512(但し1 フォルダあたり255まで)
フォルダ名　：最大128byte （1byte 文字で128 文字)
ファイル名　：128byte（1byte 文字で128 文字)

■ミュージックキャッチャー部

SHQ モード ：約248 分
HQ モード　：約331 分
STD モード ：約497 分
LP モード　：約663 分

■AUX部

入力感度
　HIGH ：650mV(2V出力時)
　MID　：1.3V(2V出力時)
　LOW　：2.0V(2V出力時)

■オーディオ部

定格出力：17W×4（20Hz～20kHz、1%、4Ω）
最大出力：50W×4
適合インピーダンス：4Ω（4Ω～8Ω）
2バンドEQ　BASS（50/80/120Hz):
　＋16dB、－12dB
　TREBLE（8k/12kHz）：±12dB
マグナベースEX：＋14dB（50Hz）
（音量ステップ 13）
ラインアウト出力レベル ：2.0V（CD1kHz）

■DSP部

D/A 変換：24bit
　マルチビット△Σ
デジタルZ エンハンサー：3 モード
リスニングポジションオプティマイザー：3 モード

■共通部

電源電圧　：DC14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：3.0A（1W時）
ヒューズ定格　：15A/3A
外形寸法：178（W）×100（H）×182.5（D）mm
　(取付寸法：156.5（D）mm)
質量　：2.2kg

■付属品

- 取扱説明書 1部
- 取付説明書 1部
- 修理相談窓口リスト 1部
- 保証書 1部
- 電源コード 1本
- セムス六角ボルト 8本
- サラネジ(M5×8) 8本

＊これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

その他

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)は、製造打ち切り後6年保有しています。

クラリオン株式会社

本社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2

Clarion ホームページ　http://www.clarion.com

お問い合わせはお客様相談室へ

フリーダイヤル：0120-112-140

（9：00～12：00・13：00～17：30/土・日・祝祭日を除く）

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

＊お客様へ … ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。

Printed in China 2006/6　PA-2819A　280-8413-00